

【報道関係者各位】

株式会社ベネッセホールディングス
広報・IR部

「夏休みの宿題調査」 多くの保護者が子どもの夏休みの宿題をサポート ～夏休みの終わりに親子であわてないよう、早めの働きかけが重要～

株式会社ベネッセホールディングスの子会社である株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山市、以下：ベネッセ）の展開する通信教育講座「進研ゼミ 小学講座」では、夏休みの宿題に関する親子の取り組み把握を目的に、2016年に全国の小学生の子どもをもつ保護者720名に「夏休みの宿題」についてアンケート調査を行いました。

本調査からは、子どもにとくに取組みませにくい宿題が「読書感想文」や「自由研究」だったことや、一部の宿題では約2割の保護者が「全てにおいて助言・一緒に制作した」など、多くの保護者が子どもの夏休みの宿題のサポートをしている状況が明らかになりました。

このような状況を踏まえ、ベネッセでは夏休みの宿題に関するWEBサイトで、自由研究や読書感想文対策に役立つ情報を提供しています。また、お子さんの夏休みの目標にしていだけるよう、自由研究・作文コンクール「全国小学生『未来』をつくるコンクール」を開催しています。夏休みの開始時期に、計画を立てたり、取組みの内容を決定するにあたり、ぜひ親子で参考にしていただければ幸いです。

◆「夏休みの宿題調査」について

●調査概要

調査期間と対象：2016年09月06日～2016年09月23日

全国の小学1年生から6年生の子どもがいる保護者720名

調査方法：インターネット調査

●アンケート結果

夏休みの宿題の定番は、「ドリル」、「日記・絵日記」、「読書感想文」、「自由研究(工作)」

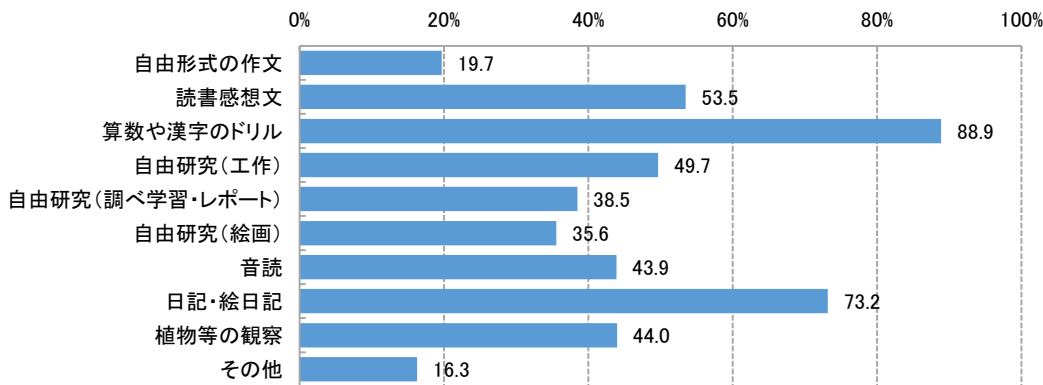
子どもにとくに取組みませにくい宿題は、「読書感想文」と「自由研究(調べ学習・レポート)」

・小1から小6までの子どもがいる保護者に夏休みの宿題内容を聞いたところ、宿題の内容として「算数や漢字のドリル」、「日記・絵日記」、「読書感想文」、「自由研究(工作)」などが多いことがわかりました(グラフ1)。また、全国の小学1年生～6年生の子どもをもつ母親4,644名を調査対象とした「小学生の夏休み調査(2009年)」では、学年別に傾向が異なることもわかっています。低学年は「日記」や「算数や漢字の問題」、高学年になると「読書感想文」や「自由研究」が増えています(グラフ2)。

・保護者が子どもにとくに取組みませにくいと思っている宿題を聞いたところ、最も取組みませにくいのは「読書感想文」であることがわかりました。それ以外には、「自由研究(調べ学習・レポート)」と「自由形式の作文」なども挙がっています(グラフ3)。

グラフ1. 直近の夏休みの学校宿題内容 (有効回答数=720、MA)

Q.この夏休みに学校からお子さまにどのような宿題が出されましたか？
直近の夏休みの宿題をあてはまるものを全てお選びください。



グラフ2 学年別夏休みの宿題 (出典:ベネッセ教育総合研究所 小学生の夏休み調査 2009年)

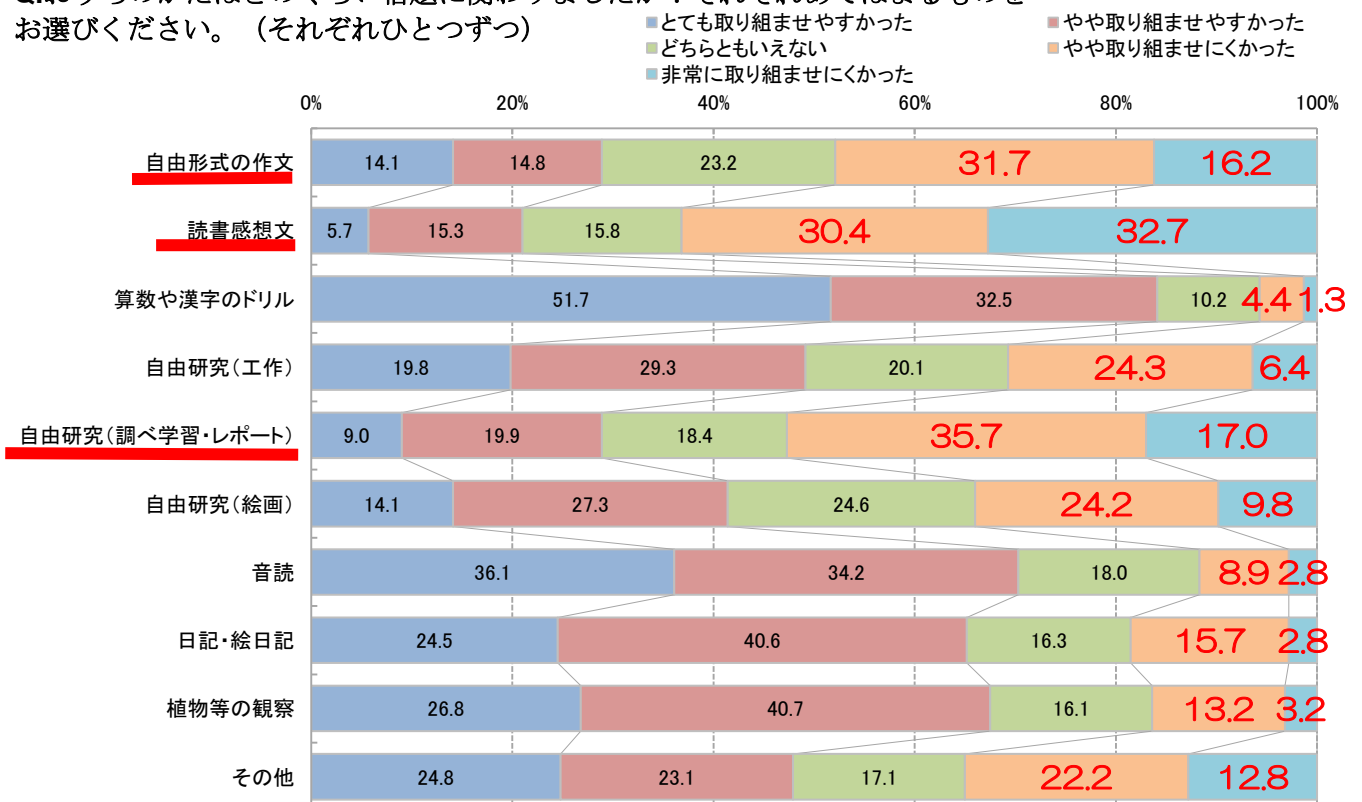
Q.今年の夏休みに学校から出た宿題はどのようなものでしたか。出たものをすべて選んでください。

	1位	2位	3位	4位	5位
1年生	日記や絵日記 92.6	算数の問題 88.9	家の手伝い 58.1	自由研究 57.1	音読 52.3
2年生	算数の問題 94.8	漢字の練習 92.6	日記や絵日記 88.2	自由研究 64.9	家の手伝い 62.4
3年生	算数の問題 93.0	漢字の練習 91.7	自由研究 77.3	日記や絵日記 70.7	読書・読書感想文 65.8
4年生	算数の問題 90.2	漢字の練習 90.2	自由研究 83.7	読書・読書感想文 67.1	家の手伝い 59.9
5年生	算数の問題 92.6	漢字の練習 91.6	自由研究 85.0	読書・読書感想文 70.9	家の手伝い 63.0
6年生	算数の問題 89.3	漢字の練習 87.0	自由研究 83.2	読書・読書感想文 68.5	家の手伝い 53.0

(%)

グラフ3 宿題ごとの取り組みやすさ (有効回答数=720、SA)

Q.おうちのかたはどのくらい宿題に関わりましたか？それぞれあてはまるものをお選びください。(それぞれひとつずつ)



「自由研究」や「読書感想文」では、約 2 割の保護者が助言や一緒に制作

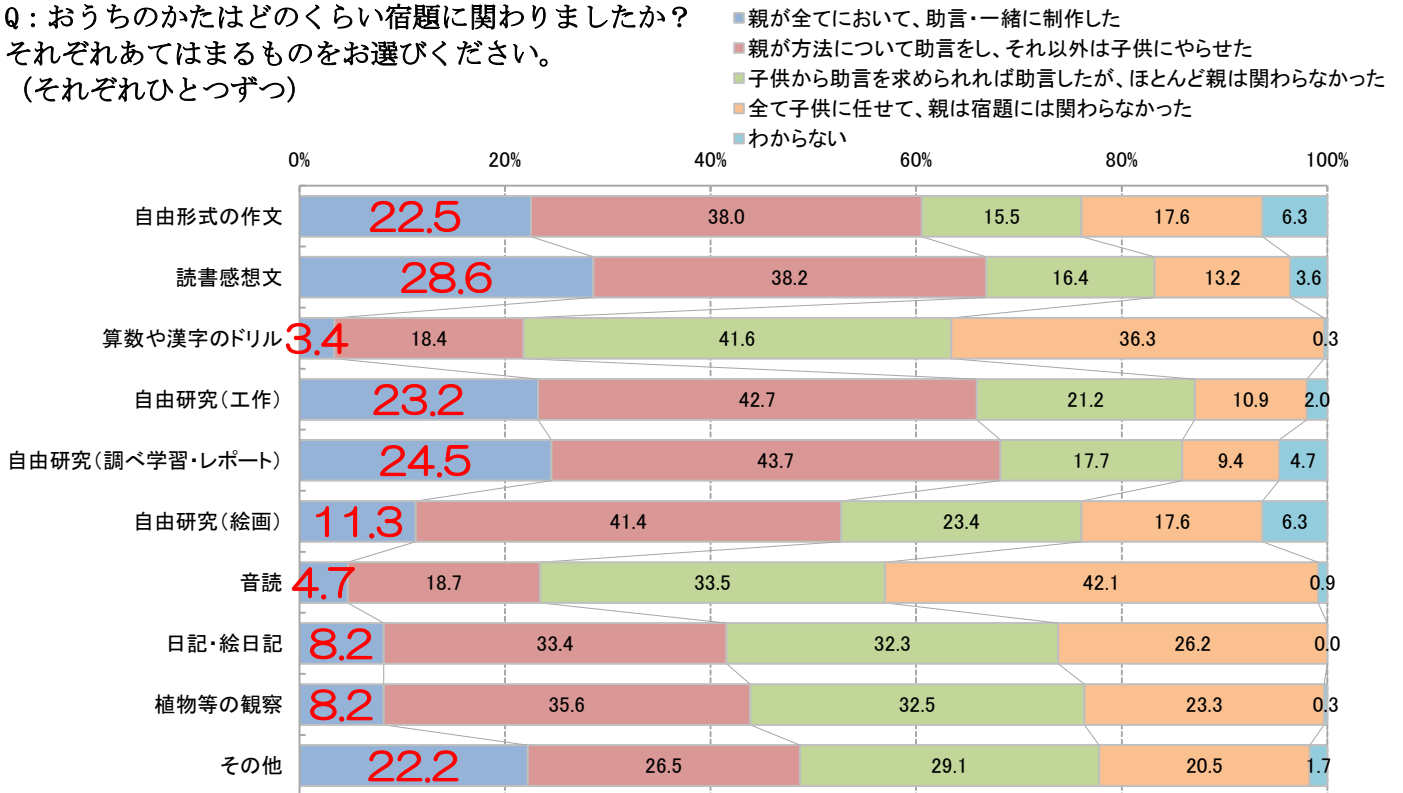
調査結果から「ドリル」や「音読」を除いたほとんどの宿題で、保護者が助言や制作などのサポートしていることがわかります。とくに、「自由研究(調べ学習・レポート・工作)」「読書感想文」「自由形式の作文」は、助言をしたり、実際に制作をした保護者※が 2 割を超え、夏休みの宿題が保護者にとっても負担となっていることがわかります(グラフ 4)。※「親が全てにおいて、助言・一緒に制作した」と回答した人の数値

グラフ 4 保護者はどの程度、子どもの宿題に関わっているか

Q: おうちのかたはどのくらい宿題に関わりましたか?

それぞれあてはまるものをお選びください。

(それぞれひとつずつ)



夏休みの宿題、親子で焦らないために！保護者の働きかけのコツ

ベネッセコーポレーション

『夏のチャレンジ 全国小学生「未来」をつくるコンクール』担当 佐藤久実子

夏休み当初の、働きかけが肝心！

夏休みの宿題はドリルや作文、自由研究などいろいろあるはずですが、夏休みが始まる際に、どの宿題をいつまでにやるかをお子さんと話し合っておきましょう。ポイントは夏休みが終わる1週間前をめどに計画を立て、進捗を確認してあげることです。

とくに、自由研究など自分でテーマを決めるものは早めが肝心です。なかなかテーマが決まらないようなら、まずはネットや書店で、お子さんと一緒にいろいろなテーマを見ることから始めましょう。選ぶポイントは、お子さん自身が興味をもてるかです。好きなテーマであれば、その後の宿題への意欲も高まっていくはずですよ。



夏休みの自由研究カンタン解決策特集

<http://benesse.jp/jiyukenkyu/>

ベネッセコーポレーションの教育情報サイトでは、夏休みの自由研究に悩む親子向けに情報を無料で提供しています。サイトでは小学校1年生から中学生向けに200以上の自由研究テーマや、読書感想文を書くコツなど幅広い情報を提供。2017年からは新たに自由研究のヒントになる動画掲載も始めています。

子どものやる気を大切に。やる気アップの1つとして目標設定も

小学生の頃の興味が将来の職業につながることも多いと言われています。お子さんの「やってみたい!」という気持ちを高めて、夏の宿題に挑戦させてあげましょう。苦労したことや発見したこと、そして親子で協力した体験が、お子さんの未来の可能性を広げます。ベネッセが開催している「全国小学生『未来』をつくるコンクール」でも作文・自由研究・絵画・環境の4部門で作品を募集しています。お子さんのやる気アップのきっかけとして、ぜひご利用いただきたいと思います。



「第14回全国小学生『未来』をつくるコンクール」

<http://navi.benesse.ne.jp/sho/all/others/concour/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ベネッセコーポレーション 広報・IR部

担当:宮本、川上、齊藤

TEL: 042-357-3658/FAX: 042-389-1757